

第3回例会報告（2016年3月発信）

月日の経つのがあっという間。早くも年度末。先生方、慌ただしくお過ごしのことと思います。

さて、広島支部第3回例会を3月6日（日）（比治山大学附属幼稚園ホール）に行いました。今回も30人の熱心な参加者でした。



柿本支部会長のあいさつ



坂本先生のお話

講師は坂本真理子先生。今日も、自然に、リズム運動から入り、身体も心もほぐれていきます



坂本先生のご指導を受けた参加者の声、比治山大学附属幼稚園の上野先生のお届けします。

『春の陽気を感じながら始まった今回の研修会。午前中は「はるがきた」の歌をテーマにした活動が展開されていきました。「はるがきた」の歌のリズムに合わせて手を叩いたり踊ってみたいり…。坂本先生のリトミックの素敵な所は私たちが体をのびのびと動かしている中にリズムや拍子、音楽が持つエネルギーを自然に感じる事ができるという所。今回の「はるがきた」の歌の中では「補足リズム」

(メロディーの休符や音を伸ばしているときに四分音符を手拍子して休符や音の長さを自然と感じられるようにする)を教えてくださいました。ちょっとしたゲーム感覚で拍子を打っていく中で気付くと参加者の皆さんと音がぴったりと揃っている心地良さといったら！ホールの中が一体となって参加者の皆さんとにっこり顔を見合わせた瞬間、心も体も解きほぐされたようなあたたかい気持ちとなりました。

午後は「春になったら」というリトアニアの曲（坂本先生が編曲されたものです！）に合わせて体を動かす活動がメインとなって進んでいきました。3部構成となっているこの曲を、3つのグループに分かれて拍子に合わせた動きを考えていきます。それぞれのグループの持ち味を大切にしながら的確なアドバイスを下さる坂本先生の姿に、子どもたちへのかかわり方とも通じる部分があるなあ…と考えさせられました。

最後にはおなじみの絵本を使ったうたあそび。今日は「もりのおふろ」という絵本がテーマでした。「しあわせならてをたたこう」を替え歌にしながら動物になりきってお風呂に入ることを思いっきり楽しむことができました。子どもたちがのびのびと楽しめるように、自分ものびのびと楽しむ。坂本先生のリトミックにはそんなエッセンスがたくさん詰まっています。また、実際の保育でも実践できるアイデアもいっぱいです！心がうきうきわくわくして、次はどんなことが始まるんだろう？と思わせて下さる坂本先生の研修会、

私は大好きです。坂本先生、ありがとうございました』



今年も有意義な研修をすることができました。来年度も、多くの皆様とともに、リトミックを深めてまいりたいと思います。どうぞ、気軽にお越しくださいませ。